

平成29年鞍手町議会第5回定例会会議録（第2号）						
平成 29 年 12 月 11 日						
招集場所	鞍手町役場議事堂					
開閉会日時 及び宣告	開 会 開 議					議 長
	平成29年12月11日 午後1時00分					星 正 彦
	閉 会 開 議					議 長
	平成29年12月11日 午後2時15分					星 正 彦
出席及び 欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠 の別	議席 番号	氏 名	出欠 の別
	1	熊井照明	出欠	11	岡崎邦博	出欠
	2	須藤信一郎	出欠	12	須山由紀生	出欠
	3	川野高實	出欠	13	須藤敏夫	出欠
	4	宇田川 亮	出欠			
	5	竹内利一	出欠			
	6	田中二三輝	出欠			
	7	星 正 彦	出欠			
	8	鯨坂省治	出欠			
	9	栗田幸則	出欠			
10	久保田正之	出欠				
出席	13人					
欠席	0人					
欠員	0人					
会議録署名 議員	6	田中 二三輝		8	鯨坂 省治	

職 務 出 席	議会事務局 局長	渡辺智文	出欠	議会事務 次 長	長 浦 良	出欠
	町 長	徳島眞次	出欠	会計課長	櫻井順子	出欠
	副町長	阿部 哲	出欠	建設課長	白石秀美	出欠
	教育長	水摩幸隆	出欠	政策推進 課 長	三戸公則	出欠
	総務課長	藤原光徳	出欠	地域振興 課 長	立石一夫	出欠
	福祉人権 課 長	石井通稔	出欠	上下水道 課 長	原 敏勝	出欠
	税務住民 課 長	久保田隆一	出欠	教育課長	筒井英和	出欠
	農政環境課長 兼農業委員会 事務局 長	篠原哲哉	出欠	保険健康 課 長	松永憲昌	出欠
	地方自治法 第121条 により説明 出席者の 職氏名					
議 事 日 程	別紙のとおり					
付 議 事 件	別紙のとおり					
会 議 経 過	別紙のとおり					

平成29年第5回鞍手町議会定例会議事日程

12月11日 午後1時開議

第2号

日程第1 一般質問

平成29年12月11日（第2日）

開議 13時00分

○議長 星 正彦君

これから本日の会議を開きます。

日程はお手元に配布のとおりです。

これより日程に入ります。

日程第1 一般質問を行います。

質問はお手元の通告一覧表の順序により行います。

最初に、4番議員 宇田川亮君の質問を許可します。

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

通告に従いまして2点について質問をいたします。

まず1点目は、くらて病院の問題についてです。

12月議会初日に調査特別委員会の報告書が読み上げられました。特別委員会の報告ではくらて病院の正常化には医師の確保が不可欠だとし、病院理事長が医師の招聘に尽力されているが、徳島町長の執拗な不当介入があった中でそれが障害となり新たな医師を招くことは非常に難しい状況にあるというふうにしています。

この障害を取り除くには徳島町長自身が一番の被害者といえる患者やその家族、鞍手町民及びくらて病院を利用する周辺住民に対し誠意ある謝罪を行うとともに、くらて病院に対しては今後一切の不当介入は行わないことを誓約し宣言する必要があるとしています。

今くらて病院はマイナスからのスタートが強いられています。それどころか存続の危機にも直面しています。

町長が本当にくらて病院の正常化を図ろうとするなら、すぐにでも誠意ある謝罪と不当介入を行わないことを誓約すべきだと考えますが、答弁をお願いします。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

まずは町民の方々に不安を与えるような事態を招いたことについては、誠に申し訳なく思っております。この場をお借りいたしましてお詫びを申し上げたいとそのように思っております。

また、くらて病院の運営については、関係法令の定める権限の範囲において病院と協議をしながら進めていきたいとそのように考えております。そして今議員がおっしゃいました、今後不当介入を行わないことを誓約する考えはと、私は誓約書の書面を書けと言うのであれば書いてもかまいません。ただし条件がございます。

以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

ちょっと、いきなり。なんと言うのですかね。まず、今回の町長が行ったことについて本当に悪かったというふうに考えているのでしょうか。なんか書いてもいいけれど条件があるとかいうような言い方ですが。どういう条件があるのか分かりませんが、そのことについて教えて下さい。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

今回の一連の病院の流れですけれども、まずは3月21日に八代理事長が私のところに来て、これは調査特別委員会の中でも申しましたけれども、事務長が裏金を作っているということを、これは何度も調査特別委員会の中でも言いましたけれども。この裏金問題、調査特別委員会であれほど私が言ったにも拘わらず今回の調査報告の中には、田中委員長はほとんど触れられていない。

無いに越したことはないのですが、もし裏金があったとか、これは分かりませんよ。もしの話、仮定の話ですよ。もしあったり、若しくは業務上横領、若しくは不正経理、そういったのがあった時には、条件があるというのは今現在の河野理事長は病院の建て直しのために来られました。

この事件が起こったのは八代理事長が町長に対して裏金があると言ったがゆえに町長がそれに対して動きを出した、アクションを起こしたというのが事実であります。

ですから、もし今後裏金があったりとか、不正経理があったりとか、もし発覚した時には河野理事長には責任を一切問わないということをきちっと皆様方で認識し、書いていただければ私はいつでも誓約書にはサインしてもいいかとそのように思っております。

それともう一つ、今回のこの問題で、もし本当に裏金や不正経理があった時には誰が責任を取るのかというところは、まだ未解決のままではないでしょうか。

今回の調査特別委員会は病院の正常化をする調査特別委員会だったと思います。今はしっかりと病院との、河野理事長さんと病院の理事会、そして行政、つまり町長とはしっかりした関係で、今河野理事長はお医者さんの招聘を一生懸命されておりますし、来たるべく桜が咲く頃にはおそらく病院は正常化するのではないかと私はそのように思っております。

以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

特別委員会の正常化というのを、病院内部の裏金問題がどうのこうのだからということの正常化ではないのですよ。特別委員会自体は今回6項目の嘆願書が出されて、これが本当に事実なのかどうかを確かめ、それがもし事実だとしたらどこにその責任があるのかと、医者

が何人も辞めて正常な運営ができない。それを元の正常な運営ができるようにするためにはどうしたらいいのかという調査特別委員会ですよ。その報告書が今回の報告書です。

裏金問題が一切書いていないとかいう、まずその発端があったとしても、じゃああるなしがあっても不当介入していいのかどうかということになるでしょう。きっかけはどうであれ、ほらありますよ。町長が言うきっかけは裏金問題に端を発したと、これ報告書の中にも入っていますよ。

ですが、それを理由にして不当な介入をしていいのかどうか。理事長を任命しませんとか、外部理事を入れようとしたりだとか、いろいろなことを町長はやってきたわけでしょう。それを本当にしていいのかどうかというのが問われたわけですよ。

そういうことをやられるというのが、他の病院だとか、大学病院もそうですけれども、伝わって行って、そういう所には行けませんよと。河野理事長も言われていましたが、今のままではくらで病院に行きたくない。なかなか医師の招聘が難しいという状況にある。だから町長は裏金問題は今回、話をすり替えてもらったら困るのですが、そういう問題ではないですよ。それはそれですよ。不当介入があるから行きたくない、じゃその障害を排除しなるとなかなか医師の招聘も上手くいかないということでの報告書になっているわけですから、誓約書に名前を書いてもいいけど条件があるとか、そういう話ではないのですよ。

内外に知らしめる、この議会の場だけで謝罪するとかということだけでなく、きちっと本当に今までやってきたことを。裏金問題があると聞いたからこういうことをやりました。それでは理由になりませんよ。不法行為ですから。

ですから、今までのやり方について町長はきちっと町長のやり方でやってきた結果、医師らが辞めていく、病院の正常な運営ができない。このことに対して一番迷惑を被ったのは患者とその家族ですよ。もう余儀なく他の病院に移って下さいと。町長が言ったわけではないけれども町長がやった行為に対して医者が辞めるからそうせざるを得なくなったというのが理事会の見解ですよ。

ですから、その障害を取り除くために、この場だけで謝罪して一切しませんというのでなくて、正式に謝罪会見なりして内外に知らしめて欲しい。一切不当な介入はやりませんと、本当に患者さんやその家族、町民の皆さんにご迷惑をお掛けしましたということをしっかりと謝罪した上で今後一切しませんという誓約をしてほしい、誓約書を書けという話をしているわけではありませんよ。どうですか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

委員会の中でも私申しましたように不当な介入があったのは、その時点でお詫びをしたかと思えます。それは私も反省もいたしております。

ただ、私はお医者さんとは医療現場の方とは八代理事長としかお会いをしておりません。八代理事長といろいろなやり取りはあったのですが、八代理事長は新聞を見ると6人の医師

ところで聞きますよ。そういうのを。本当に今までやって来たことについての反省と謝罪をしっかりとすべきですよ。ここは。どうですか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

私の介入においては、いけなかったということは何度も皆さん方の前ですみませんと言っております。ただ僕はお医者さんが3月まであるのに何で患者さんをそんなにあれしなくてはいけないのかなど。そこがちょっと分からない。そういうことでございます。

以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

やっぱりそういうところが町長にはあるのですね。そういうところというのは、謝るのは謝ってもいいけれども、実際には医者が悪いというようなお話ではないですか。今までの発言を聞きますと。

町長が不当介入を繰返さなかったら医者が辞めるとか言う話にはならんのですよ。先程6分の1とか6分の5とかと言われましたが、その6分の1の院長も、それまでの嘆願書6項目の中の副理事長を辞めさせるに至らしめたことについても、それに対して嫌気がさして、ちょうど来年で、あと1年間で退職だから辞めますと言いに行ったわけじゃないですか。八代院長も本当は続ける気はあったと思いますよ。

これはもう任命しませんとか、その後でやっぱりお願いしますとか、色々なことを言って混乱に混乱を重ねたのは町長ですよ。悪気はなかったかもしれませんが、ですが不当な介入を続けたことによって医者の気持ちがそうなり、引いては一番の被害者である患者さん、町民の皆さんに迷惑を掛けているということですから、これに対して真摯に誠意ある謝罪をするべきだと思いますよ。どうですか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

それは私は何度も申しておりますように、調査特別委員会の中で本当に申し訳ございませんでしたと謝っております。以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

今、以上でございますですけども、本音は「だがしかし、ですけども」という思いが見えるのです。町長は。でしたら本当にしっかりした謝罪会見なりをやって下さいよ。本当にそういうふうにするのでしたら。

先程も冒頭で言いましたが、くらで病院はもうマイナスからのスタートですよ。今さら申し訳ないけれども退職表明をされたドクター達は恐らく意志は変わらないというふうに思います。これは河野理事長の話でもありますが、本当にマイナスからのスタートですから、それを一転正常化に向けたスタートを切るためにも町長は今後一切そういった不当な介入はやらない、やりません。今までやってきて本当に申し訳ありません。患者さん達にご迷惑をおかけしましたという誠意ある謝罪をしっかりとした、この議会の場だけでなく会見なりを開くべきではないですか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

承っておきます。以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

承っておきます、やるとは言いませんけれども。やらないのでしたらどうなのでしょうね。本当に悪いとは思っていないのでしょうかね、私はそういうふうに理解します。

次に行きます。

先程、町長も八代院長から3月21日に裏金問題の疑惑があるというような話をお伺いしたというふうに言われましたけれども、調査特別委員会でもそういう話がありました。ですが、その後八代院長が言われているのが、町長にお話をしたのは7月6日だと。それ以前は一切やっていない、そんな話はしていないと。両者の意見が食い違っているわけです。

7月6日に老健施設の玄関口で町長が八代院長の方に、そこまで謝罪をしに行かれたのですかね。その時に話しましたということですが、これについてはどうですか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

それは八代院長は嘘を言われていますね。3月21日の日に町長室に来られて、うちの秘書にアポが入りまして午後2時でしたか、多分午後だったと思いますが、日にちは3月21日で間違いございません。

その中で八代院長は、私に事務長が裏金を作っていると聞いたものですから、帰られた後にびっくりして、すぐ外に出て副町長とうちの秘書がおるところで、副町長の前で私がちゃんと、「副町長、裏金を作ってるみたいですよ」という話もしましたから、副町長もちゃんと覚えていると思います。

ですから、3月21日でこれは間違いございません。そしてまた7月6日の日に私が八代院長のところに行ったのは、何とか院長お医者さんを引き留めることはできませんか。断りと、私が色々なことについて介入しすぎたことについては断りを言って、その時に八代院長

が私に言われたのは、「重要なことを副町長に話しております」ということを言われたものですから、「何ですか私に話を教えて下さい」ということを詰めたのですが、八代院長はその場ではお話になりませんでした。副町長から聞いてくれということになりまして。

そして、私が帰りまして副町長から内容は聞いたということでもあります。

以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

ここは両者の言い分が違いますので、いくらここで詰めても一致点はないというふうに思います。

ただ言っておきますが、特別委員会の中でも、9月の一般質問の中でも、やはり流れとして、次にも質問しますが八代院長を任命しませんと。4月から任命しません。その前に今川副理事長を辞めさせた。辞めさせたというか執拗に辞めていただくように圧力をかけた、違いますか。

嘆願書1にありました病院採用の事務統括、新病院建設担当の副理事長を退職に追い込んだ件について、29年2月下旬以降再三にわたり当時の今川副理事長の職位を外すように要求し、要求に応じないのは業者とつるんでいるので辞めてもらう等と述べ、同副理事長を中傷非難するに及んだ。4月にも暴言を吐かれている。

業者とつるんでいるとかいうのは別として、3月21日にも当時の副理事長を辞めさせるようにお話をしているでしょう。八代院長に。職位を外すように要求しているでしょ。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

理事会で申したとおりでございます。肩書きが載っていたものですから、それについては調査特別委員会でしゃべっているかと思えます。以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

流れとしては、そこで職位を外すようにして4月1日になぜか外部理事3名を入れようというふうにしました。これは間違いないですね。

では、この外部理事3名はどのような関係の人なんですか。教えて下さい。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

お一方は私がたまたま皮膚科に行っていました、その病院を多角的に経営されてある理事長でありドクターの方でございます。

もう二方は、県会議員のご息子さんとその親戚の方でございます。以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

その県会議員のご息子さんと親戚の方、くらで病院と何の関係があるのでしょうか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

事前に私もこの委員会の中で申しましたけれども、調査には時間がかかるだろうと。もう一つは内部だけではなかなか内部浄化は難しかろうということで、外部から入れた方がよからうということで。それとこの方達は県会議員の長男さんで、こちらはいろいろとお父さんが県議でありましたし秘書的なこともやられておりますし、その後は次男の方が県議員に立候補等をされておまして、言うなれば政治家の一家でございます。

特養の経営もされておりますし、どちらかという親戚の方、そして特養の理事長であり県議のご息子さんというのは、私は政治家というふうな思いでお付き合いをさせてもらっております。

この方達のお陰をもちまして今回北九州市の議長さんを紹介していただいたり、色々な面において政治的なご尽力をいただいております。前回のくらで学園の学園祭の時にも井上議長さんが自ら仮装をされてくらで学園にもお越しいただいて挨拶をいただいたところでございます。

そういう意味においては、町としても非常にご尽力をいただいている政治家とそのように認識をいたしております。以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

ですから、くらで病院に政治家さんがなぜ必要なのか。二人も。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

これは、あとは調査特別委員会で話したとおりでございます。以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

何のために政治家の、話したから以上じゃないですよ。これは本会議の一般質問ですからきちっと答えて下さい。

○議長 星 正彦君

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

病院を建替えるのに、それは独立行政法人だから病院がすることでしょうと言っても、その中枢部分である5人の理事のうちの3人を外部理事に入れようとしたわけでしょう。そして事務局長を理事長にしようということです。

この大事な時期に裏金の噂があるということで建替え問題は本当に独立行政法人だからそっちでやることではいけないでしょう。どうしても中枢部分に外部理事3名が入ってくるわけではないですか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

私は特別委員会の中でも言ったと思いますが、あくまで調査が終わったら、この方達は引いていただくという意味で考えておりました。以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

町長の考えはそうでしょう。だけど当時はそういうことは見えないでしょう。何のために、今度から理事3名この方たちに入ってもらおうからという紹介だけだったのではないですか。裏金問題を調査するために柴田事務局長もいる前で言ったわけですか。福岡のホテルで。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

ん。福岡のホテル？

○4番 宇田川 亮君

4月1日ですよ。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

その時は、ちょっと今日は資料を持って来ておりませんので日にち等はよく分からないのですが、ただ柴田君が。結局、八代院長がそれを認めてくれなかったのですね。ですから私には人事権はございませんので柴田君と話したら、柴田君が最後は受けてくれたということですよ。そこで話合って決めたと。だから私が実際に任命したというのはちょっとおかしいのではないかなと思います。以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

ここは二転三転しているでしょう。1日に新宮の老健施設に行って、そこで3人を紹介したわけでしょう。今度から役員にするように。だけど事務局長はその時断ったと思いますよ。

裏金問題を調査するためと話をしましたか。その時、老健施設で。新宮の老健施設に政策推進課長と病院事務局長とを呼んだ時に、裏金問題を調査するために3人を外部理事に入れますという話をされましたか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

3人の方にはちゃんとその辺のところはお話を申しておりました。以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

3人の方にはじゃなくて、事務局長にですよ。事務局長に、何のためにこの3人を理事に入れるのか、外部理事を入れるのかという話をしたのですかと聞いているのですよ。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

○○○○○○○○○○。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

当時、噂されて、町長の言い方ですと八代院長から聞いて、「裏金をどうも作っているようだ」というような話があって、その当事者である事務局長に「この3人が裏金問題を調査する人間です。外部理事に3人入れます」という話をしたのですか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

お三方に来ていただく時には、ちゃんと話しておりましたけれどね。以上でございます。

○議長 星 正彦君

質問者に申し上げます。あるいは答弁者に申し上げます。

正確な回答でないと9月議会での答弁と、それ以降の調査特別委員会の参考人招致の時の町長の発言と若干食い違っている気がしますので、もう一度整理するために、ここで暫時休憩します。

休憩 13時38分

再開 14時13分

○議長 星 正彦君

会議を再開します。

先程、宇田川亮君の質問に対して、町長の方から発言の取消しと事実関係について発言したいという申し入れがっておりますので、それを認めます。

町長。

○町長 徳島 眞次君

お医者さんのモラル云々という話につきましては、申し訳ございませんが取消をしたいと思っております。

それと、4月1日に3人の理事を送り込もうとしたその以外の者に、話したのかということにおいては、調べましたら私は話していなかったみたいでございます。以上でございます。

○議長 星 正彦君

宇田川亮君。

○4番 宇田川 亮君

私の質問に対して、私の質問だけじゃないのですが9月議会での一般質問、それから調査特別委員会での町長の答弁、そして今日の私の一般質問の答弁、見事に食い違ってきて、何が本当なのか全然分かりません。これでは全く質問ができないような状態です。

何が本当なのか、町長の答弁自体が二転三転されたら私はどれを基にして質問していいのか分かりません。

議長、このことについて対処をお願いしたいと思いますが。

○議長 星 正彦君

お諮りします。

先程の町長答弁を含めて発言が二転三転する状況があります。一般質問ですから正確に答弁していただかなければならないということでお諮りします。

本日の会議はこれで延会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。従って本日はこれで延会することに決定しました。

本日はこれで延会します。

延会 14時15分

※ 会議録中4頁、9頁、11頁の○○○は、鞍手町議会会議規則第63条の規定により発言取消の申出があり、会議において許可されたため削除しております。